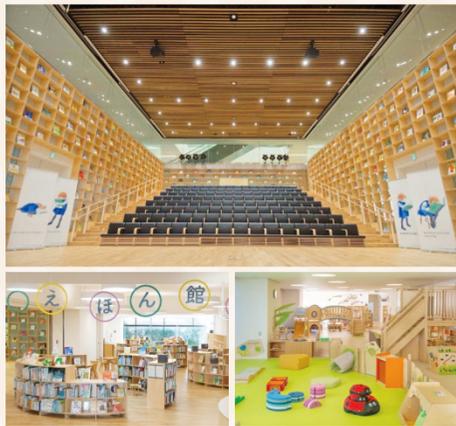




ひと、文化、自然をつなぐ“結い”のまち 荒川二丁目停留場

都電荒川線
(東京さくらトラム)

江戸時代は田園風景、明治以降は工業地帯として日本の産業を担い、今では新しい住宅が建ち並ぶその中心には、バラの咲く都電沿線に、桜の開花を待つ荒川自然公園や三河島水再生センター、ゆいの森あらかわ…。春を待ち、訪れる人々を待ち、穏やかな時が流れる荒川二丁目界隈の2月です。



① ゆいの森あらかわ

赤ちゃんから高齢者まで、
楽しみ・学び・安らげる“融合施設”

約60万冊もの蔵書規模を誇る「中央図書館」と、荒川区出身の作家・吉村昭氏の「記念文学館」、子どもたちの夢を育み成長を促す「子ども広場」が一体となった施設として2017年3月に誕生しました。その特徴は、それぞれの機能を隔てることなく、1階から5階までが吹き抜けを通じ全てがつながっていること。赤ちゃんから高齢者まで、各所を利用する人々がその存在を感じる—各機能だけでなく人と人とが「融合する」画期的な施設です。楽しみ、学び、安らげる。まさに人・本・文化・地域を“結ぶ”豊かな森なのです。

📍 荒川区荒川2-50-1 📞 03-3891-4349
🕒 9:00~20:30 📍 第3本・施設点検日・年末年始・蔵書点検期間
🌐 <https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>

ゆいの森あらかわの
ガーデンテラスから
見渡す景色は絶景!
晴れた日はお薦めだよ



荒川自然公園

三河島水再生センターの上に設置された東京ドームの約1.2倍の広さを誇る区内最大の公園。北側部分は、交通ルールを遊んで学ぶ交通園やテニスコート、野球場、子ども用プールなどが。南側には多種多様な樹木や野草に昆虫や鳥など様々な生き物が生息し、自然観察を楽しめます。荒川区の地形をかたどった「白鳥の池」では、通年で優雅な白鳥の姿が見られます。

📍 荒川区荒川8-25-3
📞 03-3803-4042
🕒 開館時間は施設により異なります。HP等でご確認ください。
📍 第1-3本
🌐 <http://arakawazien-koen.com/>



吉村昭記念文学館

荒川区出身の記録文学・歴史文学の大家・吉村昭氏の作品と足跡を、多角的な視点と深い考察で紹介しています。再現された書齋では、自由に原稿用紙に書く体験も。また、年に2回の企画展やトピック展示、講演会なども開催されます。

📍 ゆいの森あらかわ 2-3階
🕒 9:00~20:30 📍 無料



旧三河島汚水処分場

唧筒場(ポンプ場)施設

1922(大正11)年3月に運用が開始された、日本最初の近代下水処理場です。東京市改正事業の一環として、東京市技師・米元晋一を中心に建設が進められ、1999(平成11)年に稼働を停止するまで旧態を保ち続けました。2007(平成19)年に下水道分野の遺構では初めて国の重要文化財(建造物)に指定されました。敷地内には桜やツツジが植えられ季節ごとの景色も楽しめます。施設は予約制で見学できます。



📍 荒川区荒川8-25-1
🕒 9:00~16:00 📍 火・金・年末年始
【見学予約・問合せ】
📞 03-6458-3940
🌐 <https://www.tgs-mikawashimayoyaku.jp/>

誌面で紹介したお店やスポットに
タリーターキーの2人がおじゃまします!

あらぶんちよ散歩 [荒川二丁目停留場]
2月6日(月)~12日(日)
📍 地デジ10ch 15:00~
📍 地デジ102ch 23:00~
📍 地デジ11ch 11:00~、14:00~、17:00~
📍 YouTube
「あらぶんちよ!チャンネル」でも公開中!

あらぶんちよ散歩

誌面バックナンバーはこちら▶

*価格はすべて税込です。*データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
*掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。



注文を受けてから揚げる人気の「カツ丼」は大判で肉も柔らかく900円。もそも、ミニたぬき丼セット950円。丁寧に仕込んだこだわりの“つゆ”で、蕎麦も丼物もしっかり美味しい!

② きそば 甲州屋

📍 荒川区南千住6-15-1
📞 03-3891-1919
🕒 11:00~15:00、17:00~20:00
📍 日



昭和の良き面影を残す 庶民派のお蕎麦屋さん

創業は昭和5年。昭和の面影を色濃く残す店構えと多彩な品書き、味も盛り具合も手頃な値段も大満足の“正しい”町の蕎麦屋さんです。“蕎麦は大眾のもの”という店主の言葉通り、人々の日々の暮らしに根づいた味は、町を離れた人も足を運ぶほど長く深く愛されています。

◀ 店主 石塚 剛久さん



(上段左から)五苓散、八味丸、葛根湯。複方熊胆丹380円[二日酔い]、みみずー風散390円[鎮痛]、アスナオール330円[解熱]、鍾馗(ショウキ)330円[解熱]、ハイトンゼロスリー330円[風邪]。

④ 浜松薬品店

📍 荒川区荒川2-46-9-105 📞 03-6636-4367
🕒 月 19:00~22:00
木 13:00~16:00、19:00~22:00
土 14:00~16:00、19:00~22:00
※夜間(19:00~22:00)は要予約
📍 火・水・金・日
🌐 <https://www.hamamatsuhariy.com/>



残したい、使い続けたい 家族を守る日本の伝統薬

曾祖父、祖父と受け継いだ独特の施術を残そうと鍼灸師になった佐久間さんが開いた薬店。入門としての漢方薬や、日本各地の伝統薬を扱っています。その経験に裏打ちされた効能で、昔から家族の安心を守り続けた伝統薬。大切にしたい日本の知恵がここにあります。

◀ 店主 佐久間 邦之さん



お薦め銘柄から選べる「日本酒3種セット」880円。にだしぜんしゅ・ぼりぼりきりんさん・十六代九郎右衛門。つまみも吟味した逸品揃い。ほたるいかの素干し(富山産)220円。

③ 角打ち もりたや

📍 荒川区南千住6-17-5
📞 03-3805-2805
🕒 14:00~21:30 (L.O.21:00)
(土・日・祝11:00~) 📍 水
🌐 <http://www.11.plala.or.jp/s-morimori/>



銘酒をたしなみ、集い語らう。 幸せたよう街角の角打ち

大正15年創業の酒屋「もりたや」の三代目が店横に開設。通にも知られるお店厳選の日本酒や洋酒、珍味が味わえます。夕刻には三々五々近所さんが集い語らい、休日は逸品の日本酒を求め遠方から人々が訪れる。ここは酒好き、人好きの寄り合い所です。

◀ 四代目 高橋 淳さん・絵里子さんご夫妻



トロロとした卵と胡椒に生地のパランスが絶妙「カルボナーラ」(ランチはサラダ付1,050円)。店長セレクトの世界的珍しいビールも多彩に揃い、しかも嬉しい格安料金(605~715円)。

⑤ Mi Casa

📍 荒川区荒川7-25-1
📞 03-3803-1089
🕒 12:00~14:30
17:30~22:00 (L.O.21:30)
📍 日・月
🌐 <http://www.pizza-micasa.com/>



町を愛し、愛される 本場ナポリピッツァの味

イタリアで修業を積んだ店長が焼くのは本格的ナポリピッツァ。水・小麦・塩・酵母だけを使い伸ばした生地を石窯で一気に焼き上げる—伝統を守るその味はシンプルかつ明快! 気に入ったこの町で開いたお店に、若者やご年輩・ファミリーと町の人々が通います。

◀ 店長 五味 建司さん



荒川で強かに作り続ける日本の名城

創業は祖父の代の昭和10年。初めは紙製の玩具を作っていました。当時はそれを扱う駄菓子屋も多く、荒川区には玩具の町工場も多かった。高度経済成長期迎えた頃、2代目の父がメノ工場を覗いたらプラモデルの箱を印刷していて、玩具の箱より断然多かった。で、「これからはプラモデルだ」と切り替えたわけです。

ただ当初は簡単なものでした。売り先が駄菓子屋でしたから。やがて駄菓子屋が減り子どもの足が玩具屋に向かう、すると売れる商品も変わってくる。そこで本格的なプラモデルへと移るんですが、その時到来したのがレーシング

カーブーム。売れました。けどブームが去るとみな廃業していく。そのうちは御神輿とかも作っていました。「地味でもコツコツ売れる商品を大切に」という祖父の教えがあったからです。それが「日本の名城」シリーズとなっていくわけです。ブームにはならなくても追従されない、オンリーワンになれる。シンプルだから初心者も気軽に作れ、凝れば色々工夫していけます。名城は長い時をかけてお客様に育ててもらったもの、うちの土台です。この土台を大切にしながら、尖ったものにもチャレンジしてトータルで100点をめざしていきたい。会社と私が生まれ育った荒川の町でね。

4月6日
「城」パチコンテスト
コンテスト2023
(城郭模型フォトコンテスト)
「宇宙ステーション NEO大阪城」
2022年度 最優秀賞
4月6日(木)
童友社HPや協賛雑誌などで受賞発表!
★画像の合成・修正・加工は、童友社のプラモデルが使用されていれば自由!
自分で作った童友社のプラモデルのベストショットを送るだけ! 詳しくはHPから。
🌐 <http://www.doyusha-model.com/>
※締切:2月15日(水)23:59まで
※童友社本社では商品の販売・展示はしていません。ご注意ください。